

地域防災

詳 危機管理室 TEL(32)6280



阪神・淡路大震災や東日本大震災などの大規模災害を契機に、行政による防災対策だけではなく、地域での防災活動の重要性がクローズアップされています。

今回の特集では、苫小牧市でも重要な施策として位置付けている地域防災についてお知らせします。

地域からの「声」で 自主防災組織連合会が発足



発足のきっかけ

市では、阪神・淡路大震災を教訓として、平成7年に初めて自主防災組織が結成されました。現在では、市内において8割以上の世帯をカバーする町内会で自主防災組織が結成され、「隣近所の助け合い」として町内会単位を中心に地域での防災活動が行われています。

しかし、一方では、少子高齢化の進展などの社会情勢の変化により、防災活動の担い手を十分に確保することが難しいなどの課題も見えてきています。

このようなことから、将来の自主防災組織の在り方として、さまざまな団体が地域防災に参画すること、近隣の自主防災組織同士の連携、普段から災害時に備えた協力体制を築いておく必要があるものとして、宮の森町内会、澄川町内会から、防災知識の向上、自主防災組織のネットワーク構築、情報の共有化を柱とし

た連合会の設立について提言がありました。

これを受けて有志の町内会会長で設立の準備を行い、平成28年5月13日の設立総会により苫小牧市自主防災組織連合会が発足しました。

▼ 連合会設立総会の様子

